

西濃教育事務所
「例えばこんな授業」シリーズ
小・外国語編

学年・単元名	第6学年・NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit5 Where is it from?
単元のねらい	自分たちと世界とのつながりを知るために、身の回りのものや食材について、産地や生産国、また、その国の簡単な情報を伝え合うことができる。また、産地や生産国に関する情報について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。
本時のねらい 第3時／全8時	自分の好みを知ってもらったり、相手の好みを知ったりするために、自分が食べたいオリジナルサンドイッチの食材や産地について伝え合うことができる。

学 習 活 動	留 意 事 項
<p>1 ソフィアが自分のセーターを紹介している画面を見て、ソフィアがどんな内容を話していたかペアと確認したり、学習者用デジタル教科書の Let's Watch に取り組み、セーターの生産国について話していたことを確認したりする。【ペア・個人】</p> <p>2 イタリアのパニーノ、オーストラリアのステーキサンド、ベトナムのバインミーなど、海外のサンドイッチの写真を見ながら、どんな食材が入っているか確認する。【全体】</p> <p>3 Let's Listen①に組み込み、「BLT」の指す食材と産地について聞き取ったり、学習者用デジタル教科書の「サンドイッチの食材 資料」を参考にして、その食材や産地を書いたりする。【ペア・個人】</p> <p>4 JTE や ALT の食べたい理想のサンドイッチ(例:SBC sandwich ※strawberry, banana and cheese)を見て、食材や産地を予想したり、本時の課題について理解したりする。【全体】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Tell me about your favorite sandwich.</div> <p>5 JTE や ALT とやり取りしながら、本時使用する表現に慣れ親しむ。【全体】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Tell me about your favorite sandwich. S1: COT sandwich. T : Your sandwich is COT sandwich. What is "C"? What do you think, everyone? Ss: Chicken? Cheese? Corn? T : Is C for Corn? S1: No. C is for cabbage. I like cabbage very much. O is for orange. …</p> </div> <p>6 簡単なサンドイッチカードを作成するとともに、「人気食材ランキング」をつくるために、自分の好きなサンドイッチの食材や産地などを互いに伝え合う。【ペア】</p> <p>・リアルタイムで情報を集約するために、学習支援ツールを活用して、対話で得た情報をタブレットに入力する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1 : Tell me about your favorite sandwich. S2: My sandwich is a COT sandwich. C is for cheese. O is for octopus. S1 : Do you like seafood? What is T for? Is T for tuna? S2: That's right. T is for tuna. Tuna is from Shizuoka. My COT sandwich is a seafood sandwich. Tell me about your favorite sandwich.</p> </div> <p>7 結果発表を行い、印象的な仲間のサンドイッチを交流したり、その名前を教科書に書いたりする。</p> <p>8 本時の振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みんなそれぞれ好みのサンドイッチは違うことが分かった。また、いろいろな食材が、日本だけでなく世界のいろいろな国から来ていることが分かった。</div>	<p>・速度調節機能や字幕機能を活用し、英語のスピードを自己調整したり、文字で確認したりしながら、一人一人の学習スタイルに応じた学びの場とする。(Free-style time)</p> <p>・「2」、「3」、「4」、「5」においては、本時定着を図りたい“Tell me about …”, “…’s sandwich is a …”, “… is for …”の3つの表現を、JTE と ALT が意図的に使用し、自然なコミュニケーションの中で何回も聞かせる。また、徐々に、単語発話から、文発話ができるように促す。</p> <p>・「2」、「3」、「6」においては、食材や産地の言い方に不安を感じている児童がいる場合には、My Picture Dictionary のイラスト (pp.2-3、pp14-15) を使ってポインティングゲームに取り組みせたり、必要な表現を個人練習させたりするなど、適宜言語面の指導を行う。</p> <p>・結果発表前に結果を予想させたり、独創的なサンドイッチやおいしそうと感じたサンドイッチについて交流したりするなど、内容面の交流を行ったうえで、適宜、文発話(文構造)の指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【話すこと[やり取り](知識・技能)】 自分が食べたいオリジナルサンドイッチの食材や産地について伝え合っている。 《観察》(指導に生かすが記録には残さない)</p> </div> <p>・次時は、身の回りのものについて交流することを伝え、家にあるもので海外で生産されたものをタブレットで写真を撮ってくるよう伝える。</p>

本単元の主な学習活動

第1～2時

- ・行ってみたい国とその国が地図上のどこにあるかについて尋ね合う。
- ・Starting Out や Watch and Think に取り組み、様々なものが海外で作られたり、日本で作られたものが海外に輸出されたりしていることを知る。

第3～4時 (Your Turn)

- ・オリジナルのサンドイッチを考えて、食材や産地について尋ね合う。
- ・教室にあるものの生産国を調べ「〇組オリジナル生産国ワールドマップ」を作成する。

第5～6時 (Enjoy Communication)

- ・「世界とのつながりカード」を作成して、身の回りのものがどの国から来たのか、その国はどのような国なのかについて発表する。

第7～8時 (Over the Horizon)

- ・昔から日本と世界との交流が行われていたことを知る。
- ・ガーナとは、チョコレートだけでなく、日本の偉人とも関係があることを知る。